



©2005 石塚真一/小学館

<令和6年(2024年) 9月11日>

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ 特別隊員 島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。(詳細は以下のとおり)

■ 令和6年度 信州山岳アカデミー (オンライン開催・参加費無料) 参加者募集!

9月27日(金)18:30~ 2時間程度

- ▼「秋山登山の注意点」 三井 康志 氏 (長野県警察山岳遭難救助隊)
- ▼「穂高連峰と上高地誕生の謎」 原山 智 氏 (信州大学名誉教授)
- ▼「火山への登山の備え」 土井 恵治氏 (長野県火山対策総合アドバイザー)



参加ご希望の方は左記の2次元コードよりお申し込みください。

定 員 : 500 名

申込期限: 9月20日(金) 正午

* 定員になり次第、募集を締め切ります。

【遭難者の救助活動】

【寄付応募サイト】

信州の安全登山の
推進に御支援を!

★ふるさと納税 受付中★

~信州の山小屋応援・山岳遭難防止対策プロジェクト~



■ 令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況

令和6年(2024年)1月1日~9月8日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年	235	36	1	108	113	258	145
内)単独登山	82	16	1	30	35	82	47
令和5年	204	24	3	111	90	228	138
内)単独登山	70	11	0	32	27	70	43
前年同期比	+31	+12	-2	-3	+23	+30	+7
内)単独登山	+12	+5	+1	-2	+8	+12	+4

■発生状況

	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
9/5 木	中央アルプス 空木岳	男	57	負傷	滑落	単独 で越百山から空木岳に向けて登山中、滑落、負傷
9/5 木	八ヶ岳連峰 硫黄岳	女	52	負傷	転倒	宿泊していた硫黄岳付近の山小屋付近を散策中、転倒、負傷
9/6 金	八ヶ岳連峰 赤岳	女	79	負傷	転倒	16人パーティで赤岳山頂付近を登山中、転倒、負傷
9/6 金	北アルプス 北穂高岳	男	64	負傷	滑落	単独 で南岳から北穂高岳に向けて大キレットを縦走中、滑落、負傷
9/7 土	北アルプス 槍ヶ岳北鎌尾根	男	48	無事救出	疲労	単独 で北鎌尾根を登山中、疲労により行動不能
9/7 土	雨飾山	男	61	負傷	転倒	単独 で山頂から下山中、転倒、負傷
9/7 土	御嶽山	男	42	負傷	転倒	2人パーティで王滝頂上へ向けて登山中、転倒、負傷
9/8 日	北アルプス 奥穂高岳	男	47	負傷	滑落	2人パーティでザイテングラートを下山中、滑落、負傷
9/8 日	戸隠連峰 高妻山	女	50	負傷	転倒	2人パーティで弥勒尾根を下山中、転倒、負傷
9/8 日	八ヶ岳連峰 硫黄岳	男	56	負傷	転倒	7人パーティで硫黄岳から赤岳鉱泉に向けて下山中、転倒、負傷
9/8 日	北アルプス 奥穂高岳	男	50	負傷	滑落	2人パーティでジャンダルム付近を登山中、滑落、負傷

■長野県警 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス！

先週(9月2日の週)、長野県内では、11件の山岳遭難が発生しました。

県内各地で転倒や滑落が原因の山岳遭難が相次いで発生しています。11件の山岳遭難のうち「装備がないのでビバークができない」という遭難者が複数人いました。いずれも天候や現場の条件が整い、幸い当日中に救助されていますが、通報できない状態や電波が通じないなど**最悪の場合は、数時間～数日の間、現場で救助を待たなければなりません。**

日帰り・山小屋泊を問わず、また、高山、低山を問わず、**1.ヘッドライト、2.雨具、3.予備バッテリー、4.ツェルト、5.防寒具、6.非常食は必ず携行してください。**(ビバーク経験の無い方は、講習などで訓練すると必要な物がよく分かります)

もし、これらの必要装備を携行することが体力的に厳しいという方は、山のレベルを少し下げましょう。**【信州山のグレーディング】**を参考にして、行動時間が短いルート、標高差の小さい山域を選んで、秋山を楽しみましょう！

■山域別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～9月8日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	44	18.7%	8	1	22	19	50
	後立山	51	21.7%	9	0	21	28	58
	その他	24	10.2%	3	0	9	16	28
	計	119	50.6%	20	1	52	63	136
中央アルプス	20	8.5%	3	0	9	10	22	
南アルプス	3	1.3%	0	0	3	0	3	
八ヶ岳連峰	43	18.3%	5	0	22	17	44	
その他の山岳	50	21.3%	8	0	22	23	53	
計	235		36	1	108	113	258	

■態様別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～9月8日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	69	29.4%	20	0	51	0	71
転倒	50	21.3%	0	0	50	0	50
病気	11	4.7%	5	0	0	6	11
道迷い	31	13.2%	0	0	0	37	37
落石	3	1.3%	0	0	4	0	4
雪崩	5	2.1%	2	0	2	3	7
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	39	16.6%	3	0	0	39	42
不明・他	27	11.5%	6	1	1	28	36
計	235		36	1	108	113	258

■男女別・年齢別比率 令和6年(2024年)1月1日～9月8日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	3	4	38 20.8%	0	0	1	1	2	9 12.0%	6	47 18.2%
20代	2	0	6	9	17		1	0	1	3	5		22	
30代	5	0	3	9	17		0	0	1	1	2		19	
40代	5	0	8	8	21	73 39.9%	0	0	4	5	9	33 44.0%	30	106 41.1%
50代	8	0	23	21	52		2	0	14	8	24		76	
60代	6	1	17	14	38	72 39.3%	0	0	13	5	18	33 44.0%	56	105 40.7%
70以上	7	0	8	19	34		0	0	8	7	15		49	
計	33	1	66	83	183		3	0	42	30	75		258	
比率	70.9%						29.1%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。
mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝